

# press release

## ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2019年9月11日  
PRESS-19-18

ノボ ノルディスクが、9月10日に発表したプレスリリースの翻訳版です。内容や解釈については、正式言語である英語が優先されます。

### 「低血糖」が糖尿病患者の家族にとって計り知れない負担になっていることが明らかに

新たに実施された国際調査で、糖尿病患者の家族の64%が低血糖リスクを心配、または不安に感じていることが明らかになると同時に、率直な会話が助けになることが示されました

糖尿病患者\*の家族4,300名\*\*を対象として実施した国際的 TALK-HYPO 調査の結果(本日発行の Diabetes Therapy 誌に掲載)から、低血糖が糖尿病患者の家族にとって大きな負担になっていると考えられることが明らかにされました<sup>1</sup>。

糖尿病患者の家族の64%が、低血糖リスクについて心配、または不安に感じ、66%が少なくとも月1回は糖尿病患者である家族の低血糖リスクについて考えると回答しました。さらに、糖尿病患者である家族の低血糖管理をサポートしている調査参加者の74%は、その結果として、趣味や休暇などの活動に使える時間や他の友人や家族と過ごす時間が少なくなる、あるいは完全に諦めていると回答しました<sup>1</sup>。

Schulich School of Medicine and Dentistry の家庭医学／内分泌部門／疫学・生物統計学の教授であり TALK-HYPO 調査の責任者であるスチュワート ハリス博士は次のように述べています。「これまで、低血糖が糖尿病患者さんだけでなく、患者さんの家族にとってどれだけ大きな負担になっているかについて、ほとんど調査がなされてきませんでした。低血糖は臨床診療において重要な問題であるにもかかわらず、日常の診察では見過ごされがちです。本調査から、もっと低血糖について話し合うことが糖尿病患者さんとそのご家族の生活の改善に役立つ可能性が示唆されました」

回答者の76%が、低血糖についてもっと話し合うことにより糖尿病患者である家族の生活に好ましい影響がみられるものと考えているように、TALK-HYPO 調査により、低血糖に関する話し合いに時間をかけることの重要性が明らかになりました<sup>1</sup>。

80%を超える回答者が、糖尿病患者である家族と低血糖について話し合うことにより、お互いの絆が強くなるように思うと考えています。ほぼ同じ割合の参加者が、低血糖について話し合うことにより、低血糖の管理のために自分に何ができるかを理解できるようになり、糖尿病患者である家族が経験している試練について理解が深まると報告しています<sup>1</sup>。

ノボ ノルディスクのグローバル チーフ メディカル オフィサーであるステファン ゴーは、次のように述べています。「本調査から、低血糖について会話をすることが、糖尿病患者さんの生活を改善し、低血糖に対する不安が家族に及ぼしている大きな負担を軽減することに貢献するということが明らかになりました。ノボ ノルディスクは、糖尿病とともに生きるすべての人々の生活を改善することに日々努めていますが、患者さんの家族から得られたこれらの独自の洞察が、家庭および医師との間での低血糖に関する活発な会話につながることを期待しています」

低血糖に関する会話をする場合、調査参加者の半数近く(45%)が自分たちの方から話題にすると回答し、43%が糖尿病患者本人が低血糖について話すのを好まないことが主たる障壁になっていると回答しました。

本調査に参加した家族の78%は、医療従事者と低血糖について話し合うよう糖尿病患者である家族に勧め、最も強く勧めた話題は低血糖の予防と治療でした<sup>1</sup>。

### TALK-HYPO 調査について<sup>1</sup>

- TALK-HYPO 調査は、ノボ ノルディスクが資金提供し、低血糖が糖尿病患者の家族にもたらす負担を明らかにすること、および低血糖について家族や医療従事者と話し合うことが糖尿病治療にいかに関与するかについて理解を深めることを目的として実施されました。
- ノボ ノルディスクの委託を受けたイプソス社が、参加者 4,300 名\*\*にオンラインでインタビューを行いました。参加者は、18 歳以上の糖尿病患者(12 カ月以上にわたりインスリンおよび／またはインスリン分泌促進薬の投与を受けている 1 型または 2 型糖尿病患者)の成人家族です。
- 本調査に参加した家族と患者との続柄については限定していません。多くは親／義理の親(37%)、または配偶者／パートナー(18%)であり、回答者の平均年齢は 46.6 歳でした。
- 参加者の性別はほぼ均衡していました(男性 48%、女性 52%)。
- 本調査は次の 9 カ国で実施されました:カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、スペイン、英国、米国、デンマーク\*\*。フィールドワークは 2019 年 4 月 8 日から同年 5 月 6 日に実施されました。

詳しくは [www.TalkAboutHypos.com](http://www.TalkAboutHypos.com) をご覧ください

### 低血糖について

低血糖とは、血糖値が低すぎる状態のことです。低血糖の初期症状には震え、発汗、心拍数増加などがあります。適切な対処をすれば回復しますが、適切な対処をしないと重症化し、身体の臓器に必要なエネルギーを供給できなくなるため、混乱、集中力の低下や話しにくさ、痙攣の発作や昏睡、場合によっては死に至ることもあります<sup>2-5</sup>。

\*インスリンおよび／またはインスリン分泌促進薬投与を受けている 1 型または 2 型糖尿病患者

\*\* 4,300 名中、日本人 500 名

### 参照資料

1. Harris SB, Ratzki-Leewing A and Parvaresh E. Family members: the forgotten players in the diabetes care team (The TALK-HYPO Study).
2. Seaquist ER, Anderson J, Childs B, *et al.* Hypoglycemia and diabetes: a report of a workgroup of the American Diabetes Association and the Endocrine Society. *Diabetes Care*. 2013; 36:1384-1395.
3. International Hypoglycaemia Study Group. Diagnosis of hypoglycaemia. Available online at <http://ihsgonline.com/understanding-hypoglycaemia/diagnosis>. Last accessed: August 2019.
4. Cryer PE. Hypoglycemia, functional brain failure, and brain death. *Journal of Clinical Investigation*. 2007; 117:868-870.
5. Ahrén B. Avoiding hypoglycemia: A key to success for glucose-lowering therapy in type 2 diabetes. *Vascular Health and Risk Management*. 2013; 9:155-163.

### ノボ ノルディスクについて

ノボ ノルディスクは、デンマークに本社を置き、95 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満症、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも生かされています。ノボ ノルディスクは現在 80 カ国に約 4 万 1,600 人の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立されました。